

三重県下で発生した熱中症による死亡災害(平成22年～平成25年)

平成25年7月末現在

発生年月	業種	職種	年齢:性別	発生状況
平成22年8月	建設業	鉄骨工	50歳代:男性	商業施設改築工事現場内において、工具を持って移動していたところ、現場通路で倒れた。救急搬送したが、15時30分頃、収容先の病院で熱中症により死亡した。
平成23年6月	建設業	作業員	30歳代:女性	被災者は除草作業に従事していたが、午後3時25分頃体調不良を訴え、その後病院に搬送されたが、同日に肺塞栓の疑いにより死亡した。
平成23年8月	建設業	左官工	60歳代:男性	被災者は午後2時40分頃、外壁のブロック積み作業中に意識が朦朧となり、その場に倒れ、救急車で搬送されたが、翌日、死亡した。
平成24年7月	建設業	作業員	40歳代:男性	建設工事現場において、被災者は法面でアンカー掘り作業を行っていたところ、座り込んでしまった。このため、日陰にて被災者の体を冷やしスポーツドリンクを飲ませるなどしたが体調が回復せず。その後、死亡した。
平成24年8月	製造業	作業員	40歳代:男性	被災者が作業場にいないため探していたところ、工場敷地内で倒れているのを発見され、熱中症による死亡が確認された。
平成25年7月	林業	作業員	30歳代:男性	被災者は、山林にて伐木作業に従事していたところ、熱中症で意識不明・呼吸停止状態となり、搬送先の病院で死亡した。
平成25年7月	建設業	作業員	20歳代:男性	鉄筋コンクリート3階建て建物の2階屋根裏で電気配線作業を行っていた労働者が急性心筋梗塞で死亡した。(熱中症の疑い)

